

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2011/07/09 Vol.6 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) http://togu.seesaa.net/ (ブログ)

平成 23 年第 2 回印西市議会定例会報告 (2)

いつもお世話になっております。印西市議会第2回定例会(6月議会)は、6月30日(木)迄の会期で行われ、閉会しました。(今回は「文教福祉常任委員会」に請願として、提出され審議された、「夏休みの小学校のプール開放再開を求める請願」についての報告を中心に行ないます。

「市民の声、届かず」今年も夏休みのプール開放はありません。

<請願項目> 夏休みの小学校のプール開放を再開してください。

「一昨年まで行われていた小学校のプール開放ですが、保護者には何の説明もなく中止されました。小学校のプール授業はありますが、天候や子どもの体調によってはほとんど利用できないこともあります。昨年同様猛暑が予想されている今年の夏も身近な小学校のプール利用は欠かせないと考えます。子育て支援の一つとしても、学校のプール施設の有効利用としてもプール開放を強く求めます。」

(採決結果) 賛成9 / 反対14 で不採択とされました。

(賛成した議員は: 板橋、板倉、海老原、山本、国嶋、雨宮、山田、大塚、ぐんじ 以上9名)

私は賛成討論で、前回の請願が採択されなかった時に問題とされた、「安全性」、「利用者の減少」、「財政面」も問題になることはなく、現在子育て真っ最中の現役世代のお母様方が前回の請願の否決という結果にもあきらめきれずに、議員も改選されて、もう一回お願いしてみようかという心からの訴え、請願であることを議場で以下のように賛成討論という形で訴えましたが、市民の皆様の願いを果たすことはできませんでした。議会は多数決だとはいえ、力不足でした。申し訳ございませんでした。

== 私 -ぐんじとしのり- の議場での賛成討論(抜粋) =====

一番心配な放射線の問題は、現在のところ「ないだろう」と言う。

ネット上でも話題になっていて、「今年の夏のプール開放はないと聞いたが、どうなんだ?」といった趣旨のもの。また、先日、地域の中学校区の集まりにでたところ、困っていますという声、しかも、署名のことは知らなかったという。

安全性も、利用者の減少も、財政の問題も、私はクリアーできる問題だと考えています。

市当局は何をやっているのでしょうか。そもそも、市当局は、昨年度の予算申請前にはプール開放を行なうつもりだったことは前回の請願時以前にわかりました。

そして、前回の請願。市は前回の請願が議会で否決されたので、その後、市当局はプール開放について全く議論していないことがわかりました。

これでいいのですか? 厳しい財政状況だとはいえ、1校当たり90万かからずにはできるという。請願は子育て支援の一つとしてもお願いしたいとある。子育て支援都市として、他市がやっていないのであれば、PRにもなるのではないか?

そもそも印西市には市民プールがない。クリーンセンター内にプールがあるのでは? という。クリーンセンターは印西市内にはあるとはいえ、印西市の管轄ではありません。

また、夏休みにおける施設開放についても、何も考えていない。市のスポーツ振興審議会も開催されていない。一体、社会教育におけるプール活用については今後どのようになるのか。市は思考停止状態。

同僚議員の皆様。市がダメだというものは全てダメなんではないですか。議員は市民要望があれば、その実現のために、障害があればどうやって取り除き、実現できるか考えるべきではないでしょうか。私はプール開放に向けて障害はないと考え、賛成します。

=====

これに対して、反対討論に立ったある議員は、「節電」の為にプール開放すべきでないという。

(反対の趣旨として) プールの水をろ過する装置を24時間、12施設で10日間動かしたら、その電力は市内1000世帯の1日の電力使用量にあたる。子供たちがかわいそうだからというのでは、理由にはなりません。福島県には外で遊ぶことさえ控えている子供たちもいます。そのような状況のなか、節電をやめてまでプール開放を実施するという明確な理由がない限り、プール開放の再開に賛成する訳にはいかない。

*** ここまでが反対趣旨。

唖然とします。プールに行く時間を仮に各人が家でゲームをしていたら、その世帯が多ければ多いほど、電力メーターが上がるという発想はないのでしょうか？また、子どもの健康を考えたら、目先の電力使用量よりも大事なことがあるのではないのでしょうか？

節電がプールを実施しないことの原因になるのでしょうか？

個人個人の考えは違うと思うので、私は市民の皆様判断を委ねたいと思います。

いずれにせよ、今年プール開放は実現できませんでした。私自身は、正直、昨年から今年の統一選挙まで、このような運動があったことを全く知りませんでしたので、十分な準備ができなかったのは事実です。しかし、今回、請願者の方々にお会いして、来年の実施に向けて、「作戦」を練り直して市民要望に応じていきたいと思っています。

印西地区環境整備事業組合からの連絡 ～焼却飛灰の放射性物質について

環境省は先月28日、東北地方と関東地方の15都県に対し、一般ごみ焼却施設から出る焼却灰について放射性物質を測定した上で、1キロ・グラム当たり8000ベクレルを超えた場合、通常の埋め立て処理を行わず一時保管するように通知しました。このことを受けて、「環境整備事業組合」では29日に焼却灰を採集し、翌日に試料測定を行ないました。

(検出結果) 「環境整備事業組合」からの発表 (7/7付 組合ホームページに記載)

焼却主灰 (燃え殻) 2270ベクレル

焼却飛灰 (排ガスに含まれる煤塵、バグフィルターに付着) 13970ベクレル

一粒子が細かく、フィルターに付着するので、「濃縮」されます。

今後、環境整備事業組合では国の指針に基づき、当該放射性物質の一時的な保管を行い、国の指針に基づき対応することになります。(一時保管の方法は「福島県内の災害廃棄物の処理の方針」(平成23年6月23日)に準拠する。 * ぐんじ注/以下に記載します。)

1. 埋立場所を他の廃棄物と分け、埋立場所を記録する。2. 土壌(ベントナイト等)で30cm程度の隔離層を設けた上で耐水性材料で梱包等した飛灰を置く。3. 雨水浸入防止のための遮水シート等で覆う。あるいはテントや屋根等で被覆する。4. 即日覆土を行なう。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。また近隣自治体での諸問題についても、近隣議員と連携をとって解決に努めてまいりますのでお気軽にご相談ください。市民参加のまちづくりを皆様と行ってまいります。宜しくお願ひします。

ぐんじとしのり